

人権に関する意識調査 報告書

令和2年4月

行田市

目次

I	概要	1
1	調査の目的	2
2	調査の概要	2
3	調査項目	2
4	回収結果	3
5	回答者の基本属性	3
6	報告書の見方（留意点）	4
7	その他	4
II	調査結果の分析	5
1	人権全般に対する意識	6
2	女性の人権	14
3	子どもの人権	16
4	高齢者の人権	18
5	障がいのある人の人権	20
6	同和問題(部落差別)	23
7	外国人の人権	34
8	H I V感染者・ハンセン病患者等の人権	37
9	インターネットによる人権侵害	39
10	災害時における人権への配慮	41
11	L G B Tなど性的少数者の人権	43
12	男女共同参画について	47
13	D V（ドメスティック・バイオレンス）について	49

I 概 要

1 調査の目的

この調査は、行田市における人権に関する住民の意識の現状を把握し、今後の人権行政に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査地域 市内全域
- (2) 調査対象 市内に在住する満18歳以上の男女
※階層は、18歳以上29歳以下、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上の5階層とした。
- (3) 標本数 1,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳に基づく層化無作為抽出（令和元年10月1日現在）
※階層ごとの標本数及び男女の割合については均等とした。
※外国人を含む。
- (5) 調査方法 郵送による調査票配布、回収
- (6) 調査期間 令和元年11月6日（水）～11月22日（金）

3 調査項目

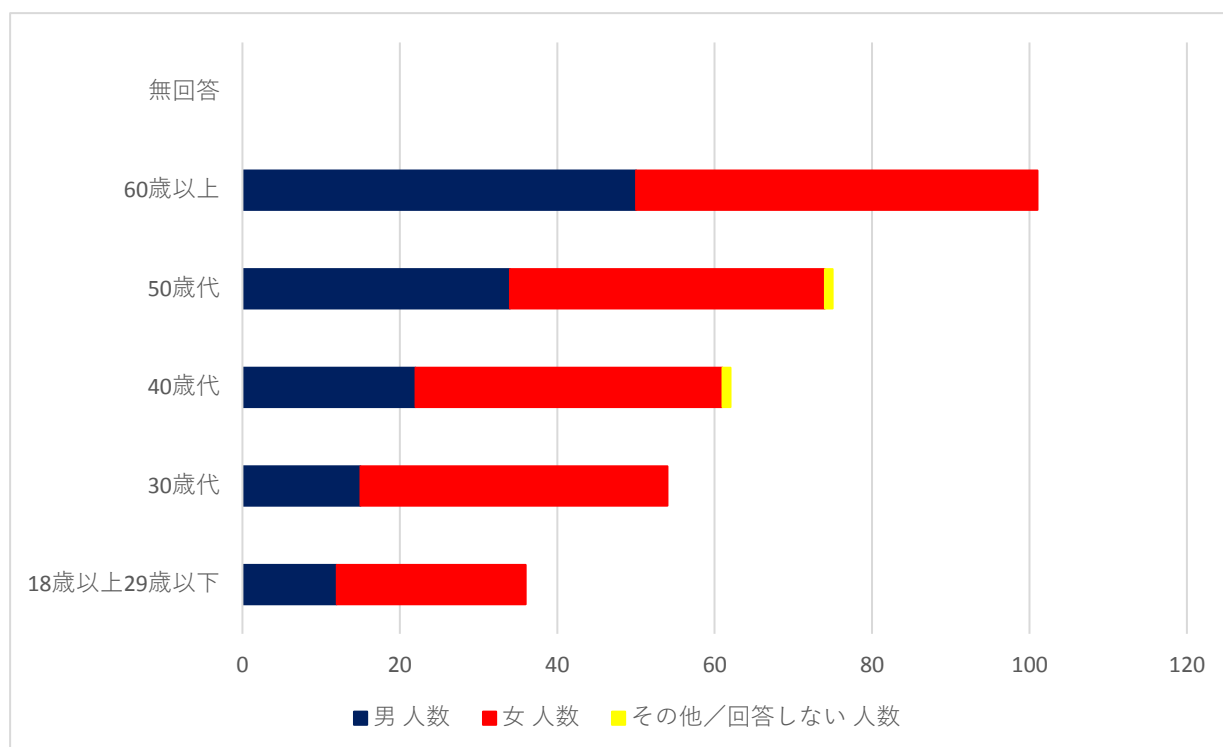
- (1) 属性（性別、年齢）
- (2) 人権全般に対する意識について
- (3) 女性の人権について
- (4) 子どもの人権について
- (5) 高齢者の人権について
- (6) 障がいのある人の人権について
- (7) 同和問題（部落差別）について
- (8) 外国人の人権について
- (9) HIV感染者・ハンセン病患者等の人権について
- (10) インターネットによる人権侵害について
- (11) 災害時における人権への配慮について
- (12) LGBTなど性的少数者の人権について
- (13) 男女の地位の平等感について
- (14) DV（ドメスティック・バイオレンス）について
- (15) 人権問題についての意見

4 回収結果

- (1) 調査票送付人数 1,000人
- (2) 有効回収人数 328人
- (3) 有効回収率 32.8%

5 回答者の基本属性

【性別・年代】



	総計		男		女		その他/回答しない		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
18歳以上29歳以下	36	11.0%	12	9.0%	24	12.4%	0	0.0%	0	0.0%
30歳代	54	16.5%	15	11.3%	39	20.2%	0	0.0%	0	0.0%
40歳代	62	18.9%	22	16.5%	39	20.2%	1	50.0%	0	0.0%
50歳代	75	22.9%	34	25.6%	40	20.7%	1	50.0%	0	0.0%
60歳以上	101	30.8%	50	37.6%	51	26.4%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	328	100.0%	133	100.0%	193	100.0%	2	100.0%	0	0.0%

6 報告書の見方（留意点）

（1）調査結果の分析区分について

調査結果は、次の区分により分析しています。

【全体】・・・特定の区分に分けず、回答者全員 328 人を対象に分析しています。

【年代別】・・・回答者 18 歳以上 29 歳以下 36 人、30 歳代 54 人、40 歳代 62 人、50 歳代 75 人、60 歳以上 101 人、年代無回答者 0 人（合計 328 人）を対象に年代ごとに分けて傾向を分析しています。

（2）回答割合の算出方法について

- ・（○は一つ）としている設問については、【全体】【年代別】ごとの回答者数を分母とし、それぞれの選択肢を選んだ人数の割合を算出しています。
- ・（該当するものすべてに○）など、一人の回答者が複数の項目を選択する設問については、その設問の回答者数を分母とし、それぞれの選択肢の回答数の割合を算出しています。

（3）端数について

割合を求めたときの端数については、小数点第 2 位を四捨五入しています。そのため、割合の合計が 100%にならない場合があります。

7 その他

各設問中の「その他」、問 31 の「意見欄」については、紙面の都合等により報告書には載せてありません。今後の人権問題に対する取り組みのための参考とさせていただきます。

Ⅱ 調査結果の分析

1 人権全般に対する意識

問1 あなたは、人権について、どのように考えていますか。（○は一つ）

【全体】

人権についての考えは、「すべての人に関わる問題」が**90.9%**で最も高く、次いで「わからない」が**3.7%**、「関係ある一部の人の問題」が**3.4%**と続いている。

【年代別】

各年代において「すべての人に関わる大切な問題」が最も高くなっているが、**60歳以上**では**84.2%**と他の年代と比べ低くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	すべての人に関わる大切な問題	298	90.9%	91.7%	94.4%	95.2%	93.3%
関係ある一部の人の問題	11	3.4%	5.6%	1.9%	1.6%	4.0%	4.0%
自分とは関わりがない問題	2	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
わからない	12	3.7%	0.0%	1.9%	3.2%	2.7%	6.9%
無回答	5	1.5%	2.8%	1.9%	0.0%	0.0%	3.0%
回答者数（人）	328	100.0%	36	54	62	75	101

問2 いまの日本の社会には様々な人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

関心のある人権問題は、「障がいのある人の人権」が58.8%で最も高く、次いで「子どもの人権」が52.4%、「インターネットによる人権侵害」が49.1%と続いている。

【年代別】

40歳代を除く各年代では「障がいのある人の人権」が最も高く、18歳以上29歳以下が63.9%、30歳代が57.4%、50歳代が56.0%、60歳代が59.4%となっている。また、40歳代では「子どもの人権」が62.9%で最も高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
			29歳以下				
女性の人権	148	45.1%	58.3%	51.9%	41.9%	46.7%	37.6%
子どもの人権	172	52.4%	55.6%	51.9%	62.9%	45.3%	50.5%
高齢者の人権	126	38.4%	38.9%	20.4%	32.3%	46.7%	45.5%
障がいのある人の人権	193	58.8%	63.9%	57.4%	59.7%	56.0%	59.4%
同和問題（部落差別）	69	21.0%	13.9%	25.9%	22.6%	16.0%	23.8%
外国人の人権	97	29.6%	38.9%	27.8%	29.0%	25.3%	30.7%
HIV感染者・ハンセン病患者等の人権	65	19.8%	13.9%	14.8%	22.6%	17.3%	24.8%
インターネットによる人権侵害	161	49.1%	50.0%	53.7%	59.7%	49.3%	39.6%
災害時における人権への配慮	132	40.2%	36.1%	37.0%	43.5%	40.0%	41.6%
LGBTなど性的少数者の人権	88	26.8%	44.4%	37.0%	27.4%	18.7%	20.8%
その他	13	4.0%	2.8%	3.7%	8.1%	1.3%	4.0%
特にない	22	6.7%	2.8%	7.4%	1.6%	5.3%	11.9%
無回答	2	0.6%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	1.0%
回答者数（人）	328	—	36	54	62	75	101

問3 あなたは、日常生活の中で、あなた自身、またはあなたの身近な人（家族・友人など）の人権が侵害されたと感じたことがありますか。（○は1つ）

【全体】

自分自身または身近な人の人権が侵害されたと感じた経験では、「ある」が31.7%、「ない」が47.0%となっている。

【年代別】

人権が侵害されたと感じたことが「ある」は、18歳以上29歳以下が41.7%、30歳代が40.7%と他の年代よりも高くなっている。また、40歳代が29.0%、50歳代が33.3%とやや少なく、60歳以上では23.8%と最も低くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	ある	104	31.7%	41.7%	40.7%	29.0%	33.3%
ない	154	47.0%	41.7%	33.3%	48.4%	40.0%	60.4%
わからない	69	21.0%	16.7%	25.9%	22.6%	25.3%	15.8%
無回答	1	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%
回答者数（人）	328	—	36	54	62	75	101

【問3で「人権が侵害されたと感じたことがある」と回答した人に対して】

問3-1 それはどのような内容ですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

人権が侵害されたと感じた経験がある104人に内容を聞いたところ、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が54.8%で最も高く、次いで「職場において、不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた」が43.3%、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が38.5%と続いている。

【年代別】

各年代において、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が40.9%以上と高くなっている。特に、18歳以上29歳以下では86.7%と最も高くなっている。

また、30歳代から50歳代では、「職場において、不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた」が他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	57	54.8%	86.7%	40.9%	61.1%	48.0%
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	40	38.5%	33.3%	45.5%	50.0%	36.0%	29.2%
社会的地位、習慣、脅迫などにより、本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害された	19	18.3%	13.3%	18.2%	38.9%	16.0%	8.3%
職場において、不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた	45	43.3%	26.7%	54.5%	61.1%	48.0%	25.0%
人種・信条・性別の違いなどにより、不平等または不利益な扱いを受けた	12	11.5%	20.0%	18.2%	11.1%	4.0%	8.3%
プライバシーの侵害を受けた	19	18.3%	33.3%	13.6%	16.7%	8.0%	25.0%
インターネットを悪用し、差別的な情報を掲載された	8	7.7%	20.0%	13.6%	5.6%	4.0%	0.0%
性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	13	12.5%	26.7%	18.2%	5.6%	8.0%	8.3%
夫婦間の暴力や交際相手からの暴力を受けた	6	5.8%	0.0%	4.5%	5.6%	12.0%	4.2%
ストーカー被害を受けた	5	4.8%	0.0%	13.6%	5.6%	0.0%	4.2%
学校や職場、地域などで仲間はずれにされた	25	24.0%	40.0%	18.2%	27.8%	20.0%	20.8%
その他	13	12.5%	6.7%	27.3%	16.7%	4.0%	8.3%
無回答	3	2.9%	0.0%	4.5%	0.0%	4.0%	4.2%
回答者数（人）	104	—	15	22	18	25	24

問4 もし、あなたが、ご自身の人権を侵害されたと感じた場合、まず、どのような対応をしますか。(〇は1つ)

【全体】

人権が侵害されたと感じた場合の対応は、「友人・家族等の身近な人に相談する」が59.8%で最も高く、次いで「我慢する」が7.9%、「わからない」が6.4%と続いている。

【年代別】

各年代において、「友人・家族等の身近な人に相談する」が最も高く、特に18歳以上29歳以下では88.9%と非常に高い割合になっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	友人・家族等の身近な人に相談する	196	59.8%	88.9%	66.7%	66.1%	61.3%
弁護士に相談する	10	3.0%	0.0%	3.7%	3.2%	2.7%	4.0%
国の機関や人権擁護委員、民生委員・児童委員に相談する	9	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.9%
婦人相談センター等の県の機関に相談する	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
都道府県や市町村の相談窓口相談する	14	4.3%	0.0%	0.0%	6.5%	6.7%	5.0%
警察に相談する	11	3.4%	0.0%	1.9%	3.2%	5.3%	4.0%
相手に抗議する	18	5.5%	0.0%	5.6%	6.5%	9.3%	4.0%
我慢する	26	7.9%	5.6%	11.1%	11.3%	2.7%	8.9%
その他	3	0.9%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	2.0%
わからない	21	6.4%	2.8%	3.7%	1.6%	4.0%	13.9%
無回答	20	6.1%	2.8%	7.4%	0.0%	8.0%	8.9%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

問5 あなたは、市において、人権教育・啓発をどのように進めたらよいと思いますか。
(○は1つ)

【全体】

人権教育・啓発の進め方については、「もっと積極的に行ったほうがよい」が46.6%で最も高く、次いで「今までどおりでよい」が25.3%、「わからない」が11.0%と続いている。

【年代別】

60歳以上を除く各年代では、「もっと積極的に行ったほうがよい」が最も高くなっているが、60歳以上では「今までどおりでよい」が37.6%で最も高くなっている。特に18歳以上29歳以下から40歳代においては、50%以上と高い割合になっている。

次いで、18歳以上29歳以下では「今までどおりでよい」が19.4%、30歳代では「今までどおりでよい」と「わからない」が14.8%、40歳代では「今までどおりでよい」が24.2%、50歳代では「今までどおりでよい」が20.0%、60歳以上では「もっと積極的に行ったほうがよい」が36.6%となっている。

選択項目	総計		18歳以上	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
			29歳以下				
もっと積極的に行ったほうがよい	153	46.6%	58.3%	51.9%	53.2%	45.3%	36.6%
今までどおりでよい	83	25.3%	19.4%	14.8%	24.2%	20.0%	37.6%
必要最小限度行えばよい	23	7.0%	8.3%	9.3%	6.5%	6.7%	5.9%
行う必要はない	5	1.5%	0.0%	1.9%	0.0%	1.3%	3.0%
その他	8	2.4%	5.6%	0.0%	6.5%	1.3%	1.0%
わからない	36	11.0%	5.6%	14.8%	9.7%	16.0%	7.9%
無回答	20	6.1%	2.8%	7.4%	0.0%	9.3%	7.9%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

問6 あなたは、結婚についてどのように考えますか。(○は1つ)

【全体】

結婚についての考え方は、「家族や周囲の意見も無視できないが、どちらかといえば、
 本人同士の合意が、より尊重されるべきである」が72.9%で最も高く、次いで「本人同士の
 合意があればよく、周囲の意見に左右されるべきでない」が18.6%となっており、ど
 ちらかといえばも含め、本人同士の意見を尊重する人の割合が91.5%となっている。

【年代別】

各年代において、「家族や周囲の意見も無視できないが、どちらかといえば、本人同士の
 合意が、より尊重されるべきである」が66%以上と最も高く、次いで「本人同士の合意
 があればよく、周囲の意見に左右されるべきでない」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	本人同士の合意があればよく、周囲の意見に左 右されるべきでない	61	18.6%	22.2%	24.1%	11.3%	16.0%
家族や周囲の意見も無視できないが、どちらか といえば、本人同士の合意が、より尊重される べきである	239	72.9%	72.2%	66.7%	87.1%	72.0%	68.3%
本人同士の合意も無視できないが、どちらか といえば、家族や周囲の人の意見が、より尊重さ れるべきである	8	2.4%	0.0%	1.9%	1.6%	4.0%	3.0%
家族や周囲の意見が尊重されるべきである	3	0.9%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
無回答	17	5.2%	2.8%	7.4%	0.0%	8.0%	5.9%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

問7 あなたは、結婚や就職の際に、身元調査をすることをどう思いますか。(○は1つ)

【全体】

「よくないことだが、ある程度は仕方がないことだ」が59.5%で最も高く、次いで「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきではない」が23.2%となっている。「身元調査をすることは当然である」は5.5%おり、ある程度は仕方がないことだと合わせると、身元調査を容認する意見が65.0%となっている。

【年代別】

各年代において、「よくないことだが、ある程度は仕方がないことだ」が最も高くなっている。次いで、各年代において「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきではない」が高くなっている。

一方、「身元調査をすることは当然である」は、60歳以上が7.9%で最も高く、30歳代が1.9%で最も低く、その他の年代は5%前後となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	身元調査は差別につながるおそれがあるので、 すべきではない	76	23.2%	13.9%	27.8%	21.0%	26.7%
よくないことだが、ある程度は仕方がないこと だ	195	59.5%	66.7%	57.4%	67.7%	53.3%	57.4%
身元調査をすることは当然である	18	5.5%	5.6%	1.9%	4.8%	5.3%	7.9%
わからない	21	6.4%	11.1%	5.6%	6.5%	6.7%	5.0%
無回答	18	5.5%	2.8%	7.4%	0.0%	8.0%	6.9%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

2 女性の人権

問8 あなたは、女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのような行為に対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

女性の人権が尊重されていないと感じる行為は、「男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付ける」が56.4%で最も高く、次いで「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」が54.0%、「レイプ（強制性交）など女性への性暴力」が50.3%と続いている。

【年代別】

各年代において、「男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付ける」、「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」、「レイプ（強制性交）など女性への性暴力」の割合が高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
			29歳以下				
男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付ける	185	56.4%	75.0%	61.1%	53.2%	58.7%	47.5%
職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）	177	54.0%	72.2%	51.9%	56.5%	52.0%	48.5%
売春・買春・援助交際	66	20.1%	19.4%	24.1%	27.4%	17.3%	15.8%
レイプ（強制性交）など女性への性暴力	165	50.3%	47.2%	61.1%	56.5%	53.3%	39.6%
夫婦間の暴力や交際相手からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）	117	35.7%	44.4%	38.9%	38.7%	37.3%	27.7%
職場や学校における性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）	128	39.0%	52.8%	35.2%	41.9%	40.0%	33.7%
女性のヌード写真を掲載した雑誌、アダルトDVDなど	39	11.9%	13.9%	11.1%	6.5%	8.0%	17.8%
その他	8	2.4%	5.6%	3.7%	4.8%	1.3%	0.0%
特にない	30	9.1%	8.3%	11.1%	9.7%	2.7%	12.9%
無回答	7	2.1%	0.0%	0.0%	1.6%	1.3%	5.0%
回答者数（人）	328	—	36	54	62	75	101

問9 あなたは、女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

【全体】

女性の人権を守るために必要なこととして、「男女平等や性についての教育を充実する」が43.0%で最も高く、次いで「女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する」が29.9%と続いている。

【年代別】

各年代において、「男女平等や性についての教育を充実する」が最も高くなっている。次いで、18歳以上29歳以下では「女性のための人権相談、電話相談を充実する」が36.1%、30歳代では「女性が暴力等の被害から避難するための施設を整備する」、「女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する」及び「捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出やすいようにする」が29.6%、40歳代では「女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する」が33.9%、50歳代では「女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する」が36.0%、60歳以上では「女性の人権を守るための啓発活動を推進する」が33.7%と続いている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	女性の人権を守るための啓発活動を推進する	73	22.3%	19.4%	11.1%	21.0%	17.3%
女性のための人権相談、電話相談を充実する	93	28.4%	36.1%	25.9%	19.4%	33.3%	28.7%
男女平等や性についての教育を充実する	141	43.0%	47.2%	50.0%	43.5%	45.3%	35.6%
女性の就職機会の確保や職業能力開発の機会を充実する	74	22.6%	27.8%	27.8%	17.7%	22.7%	20.8%
議員、企業役員、行政の審議会等への女性の参画を促進する	72	22.0%	25.0%	22.2%	21.0%	24.0%	19.8%
女性が暴力等の被害から避難するための施設を整備する	69	21.0%	22.2%	29.6%	22.6%	24.0%	12.9%
女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する	98	29.9%	25.0%	29.6%	33.9%	36.0%	24.8%
相談機関などが暴力等を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする	72	22.0%	19.4%	18.5%	24.2%	17.3%	26.7%
捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出やすいようにする	92	28.0%	33.3%	29.6%	32.3%	28.0%	22.8%
その他	4	1.2%	0.0%	3.7%	3.2%	0.0%	0.0%
特にない	13	4.0%	2.8%	1.9%	8.1%	1.3%	5.0%
無回答	6	1.8%	0.0%	1.9%	1.6%	0.0%	4.0%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

3 子どもの人権

問10 あなたは、子どもの人権が尊重されていないと感じるのはどのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

子どもの人権が尊重されていないと感じる状況は、「保護者による子どもへの虐待・暴力」が69.8%で最も高く、次いで「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることの強制・強要」が67.7%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬ振りをする」が54.9%と続いている。

【年代別】

各年代において、「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることの強制・強要」、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬ振りをする」、「保護者による子どもへの虐待・暴力」、「親が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見が尊重されない」の割合が高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることの強制・強要	222	67.7%	72.2%	68.5%	75.8%	65.3%
いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬ振りをする	180	54.9%	63.9%	57.4%	46.8%	57.3%	53.5%
教師による子どもへの体罰等	151	46.0%	58.3%	53.7%	45.2%	44.0%	39.6%
保護者による子どもへの虐待・暴力	229	69.8%	75.0%	79.6%	72.6%	65.3%	64.4%
親が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見が尊重されない	175	53.4%	72.2%	64.8%	51.6%	48.0%	45.5%
児童買春、児童ポルノ等	136	41.5%	41.7%	50.0%	50.0%	42.7%	30.7%
社会の中で、子どもの存在や集団がうるさいものとして扱われる	106	32.3%	44.4%	35.2%	32.3%	26.7%	30.7%
その他	9	2.7%	2.8%	5.6%	4.8%	1.3%	1.0%
特になし	10	3.0%	0.0%	3.7%	1.6%	0.0%	6.9%
無回答	5	1.5%	0.0%	0.0%	1.6%	1.3%	3.0%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

問 1 1 あなたは、子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

【全体】

子どもの人権を守るために必要なこととして、「子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える」が53.0%で最も高く、次いで「教師の人間性、指導力を高める」が49.7%、「家庭内の人間関係を安定させる」が27.7%と続いている。

【年代別】

各年代において、「教師の人間性、指導力を高める」、「子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える」の割合が高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	子どもの人権を守るための啓発活動を推進する	69	21.0%	30.6%	14.8%	16.1%	18.7%
子どものための人権相談、電話相談を充実する	78	23.8%	25.0%	20.4%	25.8%	28.0%	20.8%
教師の人間性、指導力を高める	163	49.7%	58.3%	44.4%	50.0%	57.3%	43.6%
家庭内の人間関係を安定させる	91	27.7%	22.2%	38.9%	30.6%	29.3%	20.8%
子どもに自分を大切にし、また、他人も大切に する思いやりを教える	174	53.0%	44.4%	55.6%	41.9%	50.7%	63.4%
子どもの人格を尊重する教育や意識啓発に力を 入れる	50	15.2%	13.9%	13.0%	12.9%	14.7%	18.8%
地域の人々が、どの子どもにも関心を持って接 する	57	17.4%	19.4%	18.5%	14.5%	14.7%	19.8%
子どもが被害者になる犯罪の取り締まりを強化 する	56	17.1%	19.4%	11.1%	27.4%	24.0%	7.9%
児童虐待の発見や、その解決のための体制づく りをする	72	22.0%	25.0%	31.5%	27.4%	21.3%	12.9%
マスメディアの情報（テレビの暴力シーン等） 発信のあり方を見直す	21	6.4%	5.6%	3.7%	4.8%	5.3%	9.9%
インターネットや携帯電話の利用等にかかわる 規制を強化する	41	12.5%	8.3%	13.0%	17.7%	9.3%	12.9%
その他	4	1.2%	0.0%	3.7%	1.6%	1.3%	0.0%
特にない	7	2.1%	0.0%	1.9%	1.6%	0.0%	5.0%
無回答	3	0.9%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	2.0%
回答者数（人）	328	—	636	54	62	75	101

4 高齢者の人権

問12 あなたは、高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

高齢者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い」が50.9%で最も高く、次いで「経済的な保障が十分でない」が47.6%、「働ける能力を発揮する機会が少ない」が38.4%と続いている。

【年代別】

各年代において、「経済的な保障が十分でない」、「働ける能力を発揮する機会が少ない」、「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い」の割合が高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	経済的な保障が十分でない	156	47.6%	41.7%	40.7%	54.8%	57.3%
働ける能力を発揮する機会が少ない	126	38.4%	47.2%	31.5%	35.5%	58.7%	25.7%
施設サービスが十分でない	94	28.7%	25.0%	22.2%	32.3%	33.3%	27.7%
在宅サービスが十分でない	75	22.9%	27.8%	22.2%	24.2%	26.7%	17.8%
病院や施設が、本人や家族の意思に反して行動の自由を制限したりする	60	18.3%	16.7%	20.4%	12.9%	22.7%	17.8%
道路の段差や、駅や建物の段差・階段など物理的障壁により、外出に支障がある	100	30.5%	36.1%	31.5%	27.4%	33.3%	27.7%
高齢者に冷たい態度をとったり、相手にしなかったりする	90	27.4%	44.4%	29.6%	30.6%	21.3%	22.8%
認知症等により判断能力が十分でない高齢者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害がある	66	20.1%	30.6%	27.8%	17.7%	20.0%	13.9%
高齢者の意見や行動を尊重しない	59	18.0%	13.9%	22.2%	16.1%	18.7%	17.8%
悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い	167	50.9%	55.6%	48.1%	59.7%	58.7%	39.6%
その他	5	1.5%	0.0%	1.9%	3.2%	1.3%	1.0%
特にない	24	7.3%	2.8%	14.8%	4.8%	4.0%	8.9%
無回答	5	1.5%	0.0%	1.9%	0.0%	1.3%	3.0%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

問13 あなたは、高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

【全体】

高齢者の人権を守るために必要なこととして、「高齢者が自立して生活しやすい建物や道路など生活環境の整備を推進する」が41.2%で最も高く、次いで「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」が32.3%、「本人の意思を尊重した介護を行う」が28.0%と続いている。

【年代別】

各年代において、「高齢者が自立して生活しやすい建物や道路など生活環境の整備を推進する」の割合が高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	高齢者の人権を守るための啓発活動を推進する	56	17.1%	27.8%	9.3%	11.3%	10.7%
高齢者のための人権相談、電話相談を充実する	57	17.4%	11.1%	7.4%	21.0%	18.7%	21.8%
高齢者が自立して生活しやすい建物や道路など生活環境の整備を推進する	135	41.2%	36.1%	35.2%	43.5%	54.7%	34.7%
高齢者の就職機会を確保する	85	25.9%	27.8%	22.2%	27.4%	37.3%	17.8%
高齢者とほかの世代との交流を促進する	88	26.8%	25.0%	24.1%	38.7%	21.3%	25.7%
認知症等により判断能力の十分でない高齢者の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する	51	15.5%	25.0%	27.8%	14.5%	16.0%	5.9%
成年後見制度など、高齢者の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	34	10.4%	8.3%	22.2%	8.1%	8.0%	7.9%
本人の意思を尊重した介護を行う	92	28.0%	30.6%	24.1%	21.0%	26.7%	34.7%
病院や施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する	50	15.2%	8.3%	13.0%	24.2%	13.3%	14.9%
悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る	106	32.3%	22.2%	25.9%	45.2%	36.0%	28.7%
その他	6	1.8%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	3.0%
特にない	19	5.8%	2.8%	11.1%	1.6%	4.0%	7.9%
無回答	9	2.7%	2.8%	5.6%	0.0%	2.7%	3.0%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

5 障がいのある人の人権

問14 あなたは、障がいのある人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

障がいのある人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「障がいのある人または障がいについての理解が十分でない」が66.5%で最も高く、次いで「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が51.8%、「道路の段差や、駅や建物の段差・階段など物理的障壁により、外出に支障がある」が41.8%と続いている。

【年代別】

各年代において、「障がいのある人または障がいについての理解が十分でない」の割合が最も高くなっている。次いで、各年代において「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	障がいのある人または障がいについての理解が十分でない	218	66.5%	77.8%	74.1%	72.6%	61.3%
就職活動や職場において不利な扱いを受ける	170	51.8%	55.6%	59.3%	48.4%	57.3%	44.6%
施設サービスが十分でない	82	25.0%	22.2%	29.6%	22.6%	34.7%	17.8%
在宅サービスが十分でない	61	18.6%	16.7%	22.2%	21.0%	18.7%	15.8%
病院や施設が、本人や家族の意思に反して行動の自由を制限したりする	54	16.5%	19.4%	25.9%	17.7%	14.7%	10.9%
知的障がい者や精神障がい者等に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害がある	55	16.8%	30.6%	25.9%	11.3%	8.0%	16.8%
道路の段差や、駅や建物の段差・階段など物理的障壁により、外出に支障がある	137	41.8%	50.0%	35.2%	33.9%	49.3%	41.6%
スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ない	73	22.3%	27.8%	22.2%	19.4%	22.7%	21.8%
結婚について、周囲が反対する	69	21.0%	38.9%	35.2%	21.0%	12.0%	13.9%
アパート等への入居が難しい	90	27.4%	38.9%	35.2%	25.8%	24.0%	22.8%
その他	8	2.4%	5.6%	3.7%	0.0%	1.3%	3.0%
特になし	20	6.1%	2.8%	7.4%	8.1%	6.7%	5.0%
無回答	14	4.3%	0.0%	3.7%	1.6%	1.3%	9.9%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

問15 あなたは、障がいのある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

障がいのある人の人権を守るために必要なこととして、「障がいのある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が43.6%で最も高く、次いで「障がいのある人の就職機会を確保する」が43.3%、「学校教育の中で、障がい理解教育を充実する」が43.0%と続いている。

【年代別】

各年代において、「障がいのある人の就職機会を確保する」、「障がいのある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」、「学校教育の中で、障がい理解教育を充実する」の割合が高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	障がいのある人の人権を守るための啓発活動を推進する	81	24.7%	22.2%	18.5%	24.2%	20.0%
障がいのある人のための人権相談、電話相談を充実する	51	15.5%	8.3%	9.3%	11.3%	17.3%	22.8%
障がいのある人の就職機会を確保する	142	43.3%	30.6%	46.3%	38.7%	53.3%	41.6%
知的障がいのある人等の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する	31	9.5%	8.3%	5.6%	12.9%	13.3%	6.9%
成年後見制度など、障がいのある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	38	11.6%	5.6%	16.7%	11.3%	12.0%	10.9%
障がいのある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する	143	43.6%	55.6%	48.1%	35.5%	44.0%	41.6%
障がいのある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする	43	13.1%	16.7%	13.0%	16.1%	14.7%	8.9%
障がいのある人とない人の交流を促進する	71	21.6%	33.3%	22.2%	30.6%	12.0%	18.8%
学校教育の中で、障がい理解教育を充実する	141	43.0%	50.0%	48.1%	51.6%	38.7%	35.6%
病院や施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する	18	5.5%	0.0%	5.6%	3.2%	6.7%	7.9%
その他	4	1.2%	2.8%	1.9%	1.6%	0.0%	1.0%
特になし	14	4.3%	2.8%	5.6%	6.5%	4.0%	3.0%
無回答	14	4.3%	0.0%	1.9%	1.6%	4.0%	8.9%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

問16 あなたは、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（※下記参照）をご存じですか。（○は1つ）

【全体】

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」については、「法律が出来たことも知らない」が67.4%で最も高く、次いで「法律が出来たことは知っている」が23.8%、「法律の内容まで知っている」が5.2%となっている。

【年代別】

各年代において「法律が出来たことも知らない」が最も高く、次いで「法律が出来たことは知っている」、「法律の内容まで知っている」と続いている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	法律の内容まで知っている	17	5.2%	2.8%	7.4%	1.6%	2.7%
法律が出来たことは知っている	78	23.8%	27.8%	13.0%	17.7%	26.7%	29.7%
法律が出来たことも知らない	221	67.4%	69.4%	75.9%	79.0%	70.7%	52.5%
無回答	12	3.7%	0.0%	3.7%	1.6%	0.0%	8.9%
回答者数（人）	328	—	36	54	62	75	101

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」とは・・・

全ての国民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障がいを理由とする差別の解消を推進することを目的としています。

この法律では、国・地方公共団体や会社・お店などの事業者が、障がいのある人に対して正当な理由がなく障がいを理由とした「不当な差別的扱い」を禁止するとともに、「合理的配慮の提供」に努めることなどについて規定されています。

6 同和問題（部落差別）

問17 あなたは、同和問題について知っていますか。（○は1つ）

【全体】

同和問題（部落差別）については、「言葉も内容も知っている」が52.4%で最も高く、次いで「言葉は知っている」が35.1%、「知らない」が12.2%となっている。

【年代別】

30歳代から60歳以上では「言葉も内容も知っている」が最も高いが、18歳以上29歳以下では「知らない」が最も高くなっている。「知らない」は、年代が上がるにつれ減少傾向にある。

選択項目	総計		18歳以上	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
			29歳以下				
言葉も内容も知っている	172	52.4%	16.7%	48.1%	58.1%	60.0%	58.4%
言葉は知っている	115	35.1%	36.1%	33.3%	32.3%	36.0%	36.6%
知らない	40	12.2%	44.4%	18.5%	9.7%	4.0%	5.0%
無回答	1	0.3%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数（人）	328	—	36	54	62	75	101

【問17で「言葉も内容も知っている」・「言葉は知っている」と回答した人に対して】
 問17-1 あなたが同和問題について初めて知ったのは、いつ頃ですか。(〇は1つ)

【全体】

同和問題（部落差別）を知っていると回答した287人に対し、同和問題を初めて知ったのはいつ頃かを聞いたところ、「7歳から12歳まで（小学生）」が44.9%で最も高く、次いで「13歳から15歳まで（中学生）」が20.2%、「20歳以上」が12.5%となっている。

【年代別】

18歳以上29歳以下と60歳以上では「13歳から15歳まで（中学生）」が最も高く、30歳代から50歳代では「7歳から12歳まで（小学生）」が最も高くなっている。また、60歳以上では、「20歳以上」の比率が他の年代と比べ高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	6歳まで	5	1.7%	0.0%	0.0%	1.8%	1.4%
7歳から12歳まで（小学生）	129	44.9%	26.3%	65.9%	71.4%	54.2%	16.7%
13歳から15歳まで（中学生）	58	20.2%	47.4%	11.4%	10.7%	16.7%	27.1%
16歳から18歳まで（高校生）	23	8.0%	5.3%	0.0%	1.8%	11.1%	13.5%
19歳から20歳未満	8	2.8%	5.3%	4.5%	1.8%	0.0%	4.2%
20歳以上	36	12.5%	5.3%	9.1%	5.4%	9.7%	21.9%
はっきり覚えていない	23	8.0%	10.5%	9.1%	5.4%	5.6%	10.4%
無回答	5	1.7%	0.0%	0.0%	1.8%	1.4%	3.1%
回答者数（人）	287	—	19	44	56	72	96

【問17で「言葉も内容も知っている」・「言葉は知っている」と回答した人に対して】
 問17-2 あなたが同和問題について初めて知ったのは、誰（なに）からですか。
 （〇は1つ）

【全体】

同和問題（部落差別）を知っていると答えた287人に対し、同和問題について初めて知ったのは、誰（なに）からか聞いたところ、「学校の授業、先生」が46.0%で最も高く、次いで「家族（祖父母、父母、兄弟姉妹等）」が26.5%、「はっきり覚えていない」が9.1%となっている。

【年代別】

18歳以上29歳以下から50歳代においては「学校の授業、先生」、60歳以上では「家族（祖父母、父母、兄弟姉妹等）」が最も高くなっている。「学校の授業、先生」は、年代が上がるにつれ比率が低くなる傾向があり、特に60歳以上では極端に低くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	家族（祖父母、父母、兄弟姉妹等）	76	26.5%	21.1%	11.4%	16.1%	33.3%
親せき	3	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	2.1%
近所の人	2	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	1.0%
職場の人	10	3.5%	0.0%	0.0%	1.8%	1.4%	8.3%
友人	9	3.1%	0.0%	2.3%	0.0%	2.8%	6.3%
学校の授業、先生	132	46.0%	78.9%	65.9%	71.4%	51.4%	11.5%
テレビ、ラジオ、新聞、本等	9	3.1%	0.0%	6.8%	3.6%	1.4%	3.1%
人権に関する集会や研修会	14	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	12.5%
都道府県や市区町村の広報紙やホームページ、冊子等	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
はっきり覚えていない	26	9.1%	0.0%	13.6%	7.1%	4.2%	13.5%
その他	2	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
無回答	4	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
回答者数（人）	287	—	19	44	56	72	96

【問17で「言葉も内容も知っている」・「言葉は知っている」と回答した人に対して】
 問17-3 あなたは同和問題の起こりについて、どのように受けとめていますか。
 (○は1つ)

【全体】

同和問題(部落差別)を知っていると答えた287人に対し、同和問題の起こりについて、どのように受けとめているかを聞いたところ、「江戸時代の政策によってつくられた」が48.1%で最も高く、次いで「わからない」が24.7%、「職業(仕事)が違った」が9.1%となっている。

【年代別】

18歳以上29歳以下を除く各年代では「江戸時代の政策によってつくられた」が最も高く、18歳以上29歳以下では「わからない」が最も高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	人種(民族)が違った	22	7.7%	15.8%	6.8%	10.7%	5.6%
宗教が違った	4	1.4%	0.0%	2.3%	0.0%	2.8%	1.0%
職業(仕事)が違った	26	9.1%	0.0%	4.5%	5.4%	9.7%	14.6%
生活が貧しかった	19	6.6%	5.3%	9.1%	7.1%	4.2%	7.3%
江戸時代の政策によってつくられた	138	48.1%	36.8%	45.5%	48.2%	51.4%	49.0%
わからない	71	24.7%	42.1%	29.5%	25.0%	26.4%	17.7%
その他	3	1.0%	0.0%	2.3%	1.8%	0.0%	1.0%
無回答	4	1.4%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	3.1%
回答者数(人)	287	—	19	44	56	72	96

【問17で「言葉も内容も知っている」・「言葉は知っている」と回答した人に対して】

問17-4 あなたは、同和問題に関する事柄で、特に問題があると思うのはどのような事ですか。(〇は3つまで)

【全体】

同和問題（部落差別）を知っていると答えた287人に対し、同和問題に関する事柄で、特に問題があると思うのはどのようなことか聞いたところ、「結婚の際、周囲から反対を受けること」が66.9%で最も高く、次いで「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」が35.5%、「就職において不利な扱いを受けること」が32.8%となっている。

【年代別】

各年代において「結婚の際、周囲から反対を受けること」が最も高く、次いで18歳以上29歳以下では「就職において不利な扱いを受けること」、「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」及び「職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること」、60歳以上では「就職において不利な扱いを受けること」、それ以外の年代では「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	就職において不利な扱いを受けること	94	32.8%	36.8%	20.5%	39.3%	33.3%
結婚の際、周囲から反対を受けること	192	66.9%	52.6%	63.6%	62.5%	70.8%	70.8%
日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること	102	35.5%	36.8%	31.8%	41.1%	41.7%	29.2%
職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること	45	15.7%	36.8%	18.2%	21.4%	12.5%	9.4%
学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること	59	20.6%	31.6%	27.3%	26.8%	16.7%	14.6%
インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること	33	11.5%	10.5%	15.9%	14.3%	11.1%	8.3%
わからない	44	15.3%	10.5%	22.7%	12.5%	13.9%	15.6%
その他	14	4.9%	5.3%	4.5%	3.6%	4.2%	6.3%
無回答	4	1.4%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	3.1%
回答者数(人)	287	—	19	44	56	72	96

【問17で「言葉も内容も知っている」・「言葉は知っている」と回答した人に対して】
 問17-5 あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けることがあると思いますか。(○は1つ)

【全体】

同和問題(部落差別)を知っていると答えた287人に対し、住宅や生活環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けることがあると思うか聞いたところ、「どちらかといえば気にしない」が31.4%で最も高く、次いで「まったく気にしない」が22.3%、「わからない」が20.6%となっている。

【年代別】

18歳以上29歳以下と40歳代と60歳以上では「どちらかといえば気にしない」、30歳代では「まったく気にしない」、50歳代では「どちらかといえば避ける」と「わからない」が最も高くなっている。また、18歳以上29歳以下では「避ける」が他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	まったく気にしない	64	22.3%	10.5%	36.4%	17.9%	22.2%
どちらかといえば気にしない	90	31.4%	36.8%	22.7%	35.7%	22.2%	38.5%
どちらかといえば避ける	53	18.5%	10.5%	11.4%	14.3%	23.6%	21.9%
避ける	18	6.3%	10.5%	2.3%	5.4%	8.3%	6.3%
わからない	59	20.6%	31.6%	27.3%	26.8%	23.6%	9.4%
無回答	3	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%
回答者数(人)	287	—	19	44	56	72	96

【問17で「言葉も内容も知っている」・「言葉は知っている」と回答した人に対して】
 問17-6 あなたは、結婚や就職時の身元調査について、どのようにお考えですか。
 (○は1つ)

【全体】

同和問題(部落差別)を知っていると答えた287人に対し、結婚や就職時の身元調査について、どのように考えるか聞いたところ、「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が55.1%で最も高く、次いで「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」が29.3%、「わからない」が8.0%となっている。

【年代別】

各年代において「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が最も高く、次いで「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	身元調査は差別につながるおそれがあるので、 すべきでないと思う	84	29.3%	31.6%	25.0%	25.0%	26.4%
よくないことだが、ある程度はしかたがないこ とだと思う	158	55.1%	57.9%	68.2%	60.7%	52.8%	46.9%
身元調査をすることは当然のことだと思う	18	6.3%	5.3%	2.3%	5.4%	8.3%	7.3%
わからない	23	8.0%	5.3%	4.5%	8.9%	12.5%	6.3%
無回答	4	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
回答者数(人)	287	—	19	44	56	72	96

【問17で「言葉も内容も知っている」・「言葉は知っている」と回答した人に対して】
 問17-7 あなたのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとした場合、あなたはどのように対応しますか。(〇は1つ)

【全体】

同和問題（部落差別）を知っていると答えた287人に対し、あなたのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとした場合、あなたはどのように対応するか聞いたところ、「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が60.3%で最も高く、次いで「自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない」が21.3%、「わからない」が15.3%となっている。

【年代別】

各年代において「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が最も高く、次いで18歳以上29歳以下から40歳代では「わからない」、50歳代と60歳以上では「自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	同和地区出身の人であるかないかに関係なく、 子の意思を尊重する	173	60.3%	52.6%	75.0%	62.5%	50.0%
自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕 方がない	61	21.3%	21.1%	9.1%	16.1%	23.6%	28.1%
自分としては反対しないが、家族や親せきに反 対があれば、結婚は認めない	1	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%
自分は反対であり、絶対に結婚は認めない	6	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	1.0%
わからない	44	15.3%	26.3%	15.9%	21.4%	18.1%	7.3%
無回答	2	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
回答者数（人）	287	—	19	44	56	72	96

【問17で「言葉も内容も知っている」・「言葉は知っている」と回答した人に対して】
 問17-8 あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であるとわかった場合、
 あなたはどうされますか。(○は1つ)

【全体】

同和問題（部落差別）を知っていると答えた287人に対し、結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であるとわかった場合、どうするか聞いたところ、「できるだけ家族や親せきの理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が55.4%で最も高く、次いで「家族や親せきから反対されても自分の意思を貫いて結婚する」が22.0%、「わからない」が15.7%となっている。

【年代別】

各年代において「できるだけ家族や親せきの理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が最も高く、次いで40歳代を除く各年代では「家族や親せきから反対されても自分の意思を貫いて結婚する」、40歳代では「わからない」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	家族や親せきから反対されても自分の意思を貫いて結婚する	63	22.0%	26.3%	27.3%	17.9%	18.1%
できるだけ家族や親せきの理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する	159	55.4%	63.2%	56.8%	58.9%	54.2%	52.1%
家族や親せきの反対があれば、結婚しない	8	2.8%	0.0%	0.0%	1.8%	5.6%	3.1%
絶対に結婚しない	7	2.4%	0.0%	0.0%	1.8%	5.6%	2.1%
わからない	45	15.7%	10.5%	15.9%	19.6%	16.7%	13.5%
無回答	5	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.2%
回答者数（人）	287	—	19	44	56	72	96

【問17で「言葉も内容も知っている」・「言葉は知っている」と回答した人に対して】
 問17-9 あなたは、同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

同和問題(部落差別)を知っていると答えた287人に対し、同和問題を解決するために、必要だと思うことを聞いたところ、「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が56.4%で最も高く、次いで「えせ同和行為を排除する」が32.8%、「同和問題のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく」が24.7%となっている。

【年代別】

各年代において「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が最も高く、次いで18歳以上29歳以下と60歳以上では「同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する」、それ以外の年代では「えせ同和行為を排除する」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する	67	23.3%	26.3%	15.9%	19.6%	22.2%
同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する	162	56.4%	52.6%	63.6%	55.4%	62.5%	50.0%
同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する	31	10.8%	15.8%	9.1%	7.1%	11.1%	12.5%
えせ同和行為を排除する	94	32.8%	21.1%	36.4%	42.9%	33.3%	27.1%
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	54	18.8%	21.1%	11.4%	19.6%	18.1%	21.9%
インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	52	18.1%	15.8%	29.5%	19.6%	18.1%	12.5%
同和問題のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく	71	24.7%	21.1%	29.5%	26.8%	20.8%	25.0%
わからない	25	8.7%	15.8%	4.5%	7.1%	9.7%	9.4%
その他	13	4.5%	0.0%	4.5%	7.1%	1.4%	6.3%
無回答	5	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	4.2%
回答者数(人)	287	—	19	44	56	72	96

問18 平成28年12月に、「部落差別の解消の推進に関する法律」(※下記参照)が施行されました。あなたは、この法律をご存じですか。(○は1つ)

【全体】

「部落差別の解消の推進に関する法律」については、「法律が出来たことも知らない」が73.5%で最も高く、次いで「法律が出来たことは知っている」が18.6%、「無回答」が4.6%、「法律の内容まで知っている」が3.4%となっている。

【年代別】

各年代において「法律が出来たことも知らない」が最も高くなっている。次いで、30歳代を除く各年代では「法律が出来たことは知っている」が高く、30歳代では「法律の内容まで知っている」と「法律が出来たことは知っている」と「無回答」が均等となっている。

また、60歳以上では「法律が出来たことは知っている」の比率が他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	法律の内容まで知っている	11	3.4%	2.8%	3.7%	3.2%	1.3%
法律が出来たことは知っている	61	18.6%	16.7%	3.7%	11.3%	14.7%	34.7%
法律が出来たことも知らない	241	73.5%	77.8%	88.9%	83.9%	81.3%	51.5%
無回答	15	4.6%	2.8%	3.7%	1.6%	2.7%	8.9%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

「部落差別の解消の推進に関する法律」とは・・・

現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、部落差別のない社会を実現することを目的としています。

この法律では、部落差別は許されないものであるとの認識のもと、国や地方公共団体の責務や相談体制の充実、教育及び啓発、部落差別の実態に係る調査などについて規定されています。

7 外国人の人権

問19 あなたは、日本に住む外国人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

外国人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が42.7%で最も高く、次いで「習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい」が37.5%、「病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくい」が36.0%となっている。

【年代別】

18歳以上29歳以下と40歳代と50歳代では「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」、30歳代では「アパートなどへの入居が困難である」と「習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい」、60歳以上では「年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない」が最も高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	就職活動や職場において不利な扱いを受ける	140	42.7%	63.9%	38.9%	43.5%	46.7%
年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない	116	35.4%	44.4%	29.6%	30.6%	36.0%	37.6%
選挙権がない	81	24.7%	30.6%	24.1%	14.5%	28.0%	26.7%
アパートなど住居への入居が困難である	106	32.3%	36.1%	40.7%	25.8%	36.0%	27.7%
義務教育年齢に達しているが、学校に通っていない不就学の子どもがいる	88	26.8%	41.7%	18.5%	29.0%	28.0%	23.8%
習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい	123	37.5%	52.8%	40.7%	37.1%	33.3%	33.7%
結婚について周囲が反対する	36	11.0%	25.0%	14.8%	12.9%	4.0%	7.9%
病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくい	118	36.0%	58.3%	35.2%	33.9%	34.7%	30.7%
店によっては入店を拒否されたり、十分なサービスを受けられなかったりする	53	16.2%	41.7%	16.7%	24.2%	9.3%	6.9%
その他	12	3.7%	2.8%	7.4%	1.6%	2.7%	4.0%
特になし	47	14.3%	2.8%	20.4%	19.4%	8.0%	16.8%
無回答	13	4.0%	0.0%	1.9%	3.2%	0.0%	9.9%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

問20 あなたは、外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

【全体】

外国人の人権を守るために必要なこととして、「外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める」が35.7%で最も高く、次いで「外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する」が31.7%、「外国人のための各種相談体制を充実する」が30.8%となっている。

【年代別】

50歳代を除く各年代では「外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める」、50歳代では「外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する」が最も高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
			29歳以下				
外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	50	15.2%	22.2%	11.1%	11.3%	9.3%	21.8%
外国人のための各種相談体制を充実する	101	30.8%	30.6%	29.6%	30.6%	34.7%	28.7%
外国人の就職機会を確保する	91	27.7%	44.4%	24.1%	27.4%	33.3%	19.8%
外国人の地方参政権を認めたり、行政への参画を推進したりする	33	10.1%	22.2%	7.4%	9.7%	8.0%	8.9%
外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する	104	31.7%	44.4%	22.2%	33.9%	40.0%	24.8%
日常生活に必要な情報を外国語により提供する	100	30.5%	33.3%	25.9%	32.3%	34.7%	27.7%
外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める	117	35.7%	50.0%	38.9%	38.7%	26.7%	33.7%
外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	91	27.7%	13.9%	31.5%	29.0%	28.0%	29.7%
その他	9	2.7%	0.0%	1.9%	6.5%	2.7%	2.0%
特にない	31	9.5%	0.0%	11.1%	9.7%	8.0%	12.9%
無回答	14	4.3%	0.0%	5.6%	3.2%	0.0%	8.9%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

問21 あなたは、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」（ヘイトスピーチ解消法）（※下記参照）を、ご存じですか。（○は1つ）

【全体】

「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」については、「法律が出来たことも知らない」が64.0%で最も高く、次いで「法律が出来たことは知っている」が27.1%、「法律の内容まで知っている」が4.9%となっている。

【年代別】

各年代ともに「法律が出来たことも知らない」が最も高く、次いで「法律が出来たことは知っている」となっている。

選択項目	総計		18歳以上	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
			29歳以下				
法律の内容まで知っている	16	4.9%	2.8%	5.6%	1.6%	4.0%	7.9%
法律が出来たことは知っている	89	27.1%	19.4%	22.2%	32.3%	26.7%	29.7%
法律が出来たことも知らない	210	64.0%	75.0%	70.4%	64.5%	68.0%	53.5%
無回答	13	4.0%	2.8%	1.9%	1.6%	1.3%	8.9%
回答者数（人）	328	—	36	54	62	75	101

「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」（ヘイトスピーチ解消法）とは・・・

近年、日本以外の国・地域の出身者又はその子孫で日本に適法に居住する人（本邦外出身者）を地域社会から排除することを煽動（せんだう）する「不当な差別的言動」が行われていることを踏まえ、こうした本邦外出身者に対する「不当な差別的言動」を解消することを目的としています。

この法律では、本邦外出身者に対する「不当な差別的言動」のない社会の実現のため、国や地方公共団体の責務や教育の充実、相談体制の整備、啓発活動などについて規定されています。

8 HIV感染者・ハンセン病患者等の人権

問22 あなたは、HIV感染者・ハンセン病患者等に関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

HIV感染者・ハンセン病患者等に関して、人権が尊重されていないと感じる状況は、「結婚について周囲が反対する」が46.3%で最も高く、次いで「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」と「差別的な言動をする」が43.9%、「治療や入院を断る」が30.8%となっている。

【年代別】

18歳以上29歳以下から40歳代では「差別的な言動をする」、50歳代と60歳以上では「結婚について周囲が反対する」が最も高くなっている。次いで、18歳以上29歳以下と40歳代と60歳以上では「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」、30歳代では「結婚について周囲が反対する」、50歳代では「差別的な言動をする」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	結婚について周囲が反対する	152	46.3%	41.7%	48.1%	46.8%	44.0%
就職活動や職場において不利な扱いを受ける	144	43.9%	47.2%	40.7%	50.0%	34.7%	47.5%
治療や入院を断る	101	30.8%	38.9%	35.2%	32.3%	36.0%	20.8%
無断でエイズ検査等をする	57	17.4%	22.2%	22.2%	17.7%	20.0%	10.9%
差別的な言動をする	144	43.9%	63.9%	61.1%	51.6%	38.7%	26.7%
ハンセン病療養所の外での自立した生活を営むのが困難	98	29.9%	22.2%	29.6%	33.9%	28.0%	31.7%
アパート等の入居を拒否する	69	21.0%	19.4%	27.8%	21.0%	22.7%	16.8%
宿泊を拒否する	61	18.6%	25.0%	24.1%	21.0%	17.3%	12.9%
その他	4	1.2%	2.8%	1.9%	0.0%	0.0%	2.0%
特にない	59	18.0%	11.1%	18.5%	14.5%	21.3%	19.8%
無回答	16	4.9%	0.0%	5.6%	3.2%	4.0%	7.9%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

問23 あなたは、H I V感染者・ハンセン病患者等の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

H I V感染者・ハンセン病患者等の人権を守るために必要なこととして、「エイズやハンセン病等についての正しい情報の提供や理解を深めるための教育・啓発を推進する」が68.9%で最も高く、次いで「感染者や患者等のプライバシーを保護する」が46.0%、「感染者や患者等の生活を支援する」が28.7%となっている。

【年代別】

各年代ともに「エイズやハンセン病等についての正しい情報の提供や理解を深めるための教育・啓発を推進する」が最も高く、次いで「感染者や患者等のプライバシーを保護する」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	エイズやハンセン病等についての正しい情報の提供や理解を深めるための教育・啓発を推進する	226	68.9%	69.4%	63.0%	77.4%	73.3%
感染者や患者等の人権についての相談体制を充実する	61	18.6%	8.3%	13.0%	17.7%	20.0%	24.8%
感染者や患者等のプライバシーを保護する	151	46.0%	58.3%	40.7%	56.5%	50.7%	34.7%
感染者や患者等の就職機会を確保する	32	9.8%	5.6%	9.3%	16.1%	5.3%	10.9%
感染者や患者等の生活を支援する	94	28.7%	41.7%	35.2%	29.0%	25.3%	22.8%
感染者や患者等の治療費を援助する	74	22.6%	44.4%	29.6%	21.0%	24.0%	10.9%
地域との交流を促進する	22	6.7%	8.3%	7.4%	4.8%	4.0%	8.9%
その他	1	0.3%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
特にない	30	9.1%	2.8%	7.4%	6.5%	10.7%	12.9%
無回答	11	3.4%	0.0%	3.7%	0.0%	2.7%	6.9%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

9 インターネットによる人権侵害

問24 あなたは、インターネット上での人権侵害に関して、現在、どのような問題が起きていると思いますか。（該当するものすべてに○）

【全体】

インターネット上での人権侵害に関して、現在、起きていると思われる問題として、「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）を掲載する」が84.5%で最も高く、次いで「個人情報の流出などの問題が多く発生している」が68.9%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっている」が49.7%となっている。

【年代別】

各年代ともに「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）を掲載する」が最も高く、次いで60歳以上を除く各年代では「個人情報の流出などの問題が多く発生している」、60歳以上では「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっている」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	他人への誹謗中傷（ひどい悪口）を掲載する	277	84.5%	97.2%	85.2%	91.9%	86.7%
差別的な表現や差別を助長するような表現を掲載する	159	48.5%	47.2%	50.0%	58.1%	48.0%	42.6%
出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっている	163	49.7%	50.0%	37.0%	56.5%	57.3%	46.5%
捜査の対象となっている未成年の実名や顔写真を掲載する	87	26.5%	33.3%	38.9%	24.2%	30.7%	15.8%
ネットポルノが存在する	88	26.8%	33.3%	29.6%	32.3%	28.0%	18.8%
個人情報の流出などの問題が多く発生している	226	68.9%	86.1%	79.6%	83.9%	72.0%	45.5%
悪徳商法によるインターネット取引での被害が起こっている	155	47.3%	55.6%	55.6%	50.0%	52.0%	34.7%
その他	6	1.8%	2.8%	5.6%	0.0%	0.0%	2.0%
特にない	10	3.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.3%	7.9%
無回答	11	3.4%	0.0%	1.9%	0.0%	1.3%	8.9%
回答者数（人）	328	—	36	54	62	75	101

問25 あなたは、インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

【全体】

インターネット上の人権を守るために必要なこととして、「違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する」が71.6%で最も高く、次いで「プロバイダ（インターネット接続業者）等に対し人権を侵害する情報の削除を求める」が49.1%、「インターネット利用者やプロバイダ（インターネット接続業者）等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」が47.0%となっている。

【年代別】

各年代ともに「違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する」が最も高く、次いで18歳以上29歳以下と60歳以上では「インターネット利用者やプロバイダ（インターネット接続業者）等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」、30歳代から50歳代では「プロバイダ（インターネット接続業者）等に対し人権を侵害する情報の削除を求める」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	117	35.7%	47.2%	33.3%	40.3%	30.7%
インターネット利用者やプロバイダ（インターネット接続業者）等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する	154	47.0%	58.3%	40.7%	53.2%	53.3%	37.6%
違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する	235	71.6%	63.9%	75.9%	74.2%	77.3%	66.3%
プロバイダ（インターネット接続業者）等に対し人権を侵害する情報の削除を求める	161	49.1%	41.7%	51.9%	62.9%	57.3%	35.6%
表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である	40	12.2%	25.0%	11.1%	16.1%	8.0%	8.9%
その他	7	2.1%	0.0%	9.3%	1.6%	0.0%	1.0%
特になし	17	5.2%	2.8%	5.6%	1.6%	2.7%	9.9%
無回答	16	4.9%	0.0%	1.9%	0.0%	2.7%	12.9%
回答者数（人）	328	—	36	54	62	75	101

10 災害時における人権への配慮

問26 災害時にはどんな人権問題が起きると思いますか。（該当するものすべてに○）

【全体】

災害時に起きる人権問題として、「避難生活でプライバシーが守られない」が74.7%で最も高く、次いで「要配慮者（障がい者・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人等）に対して、十分な配慮が行き届かない」が65.9%、「支援や被災状況などの必要な情報が行き届かない」が56.7%となっている。

【年代別】

18歳以上29歳以下では「支援や被災状況などの必要な情報が行き届かない」、30歳代では「要配慮者（障がい者・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人等）に対して、十分な配慮が行き届かない」、40歳代から60歳以上では「避難生活でプライバシーが守られない」が最も高くなっている。次いで、18歳以上29歳以下と30歳代では「避難生活でプライバシーが守られない」、40歳代から60歳以上では「要配慮者（障がい者・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人等）に対して、十分な配慮が行き届かない」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	避難生活でプライバシーが守られない	245	74.7%	66.7%	72.2%	77.4%	86.7%
要配慮者（障がい者・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人等）に対して、十分な配慮が行き届かない	216	65.9%	61.1%	74.1%	69.4%	66.7%	60.4%
避難生活の長期化によるストレスに伴う嫌がらせやいさかいが生じる	165	50.3%	58.3%	53.7%	54.8%	49.3%	43.6%
デマ・風評などによる差別的な言動が起きる	146	44.5%	55.6%	46.3%	53.2%	49.3%	30.7%
支援や被災状況などの必要な情報が行き届かない	186	56.7%	75.0%	61.1%	41.9%	57.3%	56.4%
女性や子育て家庭への十分な配慮が行き届かない	148	45.1%	52.8%	51.9%	51.6%	42.7%	36.6%
その他	10	3.0%	8.3%	3.7%	6.5%	0.0%	1.0%
特にない	10	3.0%	0.0%	1.9%	3.2%	1.3%	5.9%
無回答	12	3.7%	0.0%	3.7%	0.0%	1.3%	8.9%
回答者数（人）	328	—	36	54	62	75	101

問 2 7 あなたは、災害時に人権を配慮するためにはどのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

【全体】

災害時に人権に配慮するために必要なこととして、「災害時に対策本部を設置する行政の職員が、災害時における人権の配慮についての認識を十分に持つ」が 45.4%で最も高く、次いで「要配慮者(障がい者・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人等)の方々を、事前登録制度等を活用し、あらかじめ把握しておく」が 34.5%、「避難から復興への各段階に応じ、被災者のニーズに応じた支援をする」が 33.2%となっている。

【年代別】

18歳以上29歳以下では「防災訓練等の際に妊婦用ブースを設置するなど、具体的な訓練の中で参加者に体感してもらう」、30歳代では「要配慮者(障がい者・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人等)の方々を、事前登録制度等を活用し、あらかじめ把握しておく」、40歳代から60歳以上では「災害時に対策本部を設置する行政の職員が、災害時における人権の配慮についての認識を十分に持つ」が最も高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	通常時から災害時における人権への配慮についての理解を深めるための教育・啓発活動を推進する	104	31.7%	25.0%	25.9%	37.1%	28.0%
災害時に対策本部を設置する行政の職員が、災害時における人権の配慮についての認識を十分に持つ	149	45.4%	36.1%	35.2%	48.4%	45.3%	52.5%
防災訓練等の際に妊婦用ブースを設置するなど、具体的な訓練の中で参加者に体感してもらう	77	23.5%	41.7%	35.2%	22.6%	20.0%	13.9%
要配慮者(障がい者・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人等)の方々を、事前登録制度等を活用し、あらかじめ把握しておく	113	34.5%	36.1%	40.7%	33.9%	37.3%	28.7%
防災組織の中に、人権の配慮に関係する部局を設ける	40	12.2%	16.7%	16.7%	1.6%	16.0%	11.9%
女性、子ども、障がいのある人等人権課題ごとに災害時の人権を確保するためのマニュアルを作成しておく	103	31.4%	33.3%	33.3%	43.5%	28.0%	24.8%
避難から復興への各段階に応じ、被災者のニーズに応じた支援をする	109	33.2%	30.6%	33.3%	37.1%	41.3%	25.7%
要配慮者(障がい者・高齢者・妊産婦・外国人等)へ確実に情報が行き届くような手段を確立する	94	28.7%	27.8%	27.8%	43.5%	28.0%	20.8%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特になし	10	3.0%	0.0%	1.9%	0.0%	4.0%	5.9%
無回答	12	3.7%	0.0%	1.9%	1.6%	2.7%	7.9%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

1 1 L G B Tなど性的少数者の人権

問 2 8 あなたは、L G B Tなど性的少数者に関する言葉について知っていますか。
(○は1つ)

【全体】

L G B Tなど性的少数者に関する言葉について知っているか聞いたところ、「言葉も内容も知っている」が 54.9%で最も高く、次いで「言葉は知っている」が 29.3%、「知らない」が 13.1%となっている。

【年代別】

各年代ともに「言葉も内容も知っている」が最も高くなっている。特に 18 歳以上 29 歳以下と 30 歳代が高く、年代が上がるにつれ比率は下がっている。

選択項目	総計		18 歳以上	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳以上
			29 歳以下				
言葉も内容も知っている	180	54.9%	77.8%	74.1%	59.7%	48.0%	38.6%
言葉は知っている	96	29.3%	11.1%	14.8%	33.9%	37.3%	34.7%
知らない	43	13.1%	11.1%	9.3%	6.5%	13.3%	19.8%
無回答	9	2.7%	0.0%	1.9%	0.0%	1.3%	6.9%
回答者数 (人)	328	—	36	54	62	75	101

【問28で「言葉も内容も知っている」・「言葉は知っている」と回答した人に対して】
 問28-1 あなたが、LGBTなど性的少数者について初めて知ったのは、誰（なに）からですか。（〇は1つ）

【全体】

LGBTなど性的少数者について知っているとは回答した276人に対し、性的少数者について初めて知ったのは、誰（なに）からか聞いたところ、「テレビ、ラジオ、新聞、本等」が75.4%で最も高く、次いで「はっきり覚えていない」が9.1%、「友人」が4.7%となっている。

【年代別】

各年代ともに「テレビ、ラジオ、新聞、本等」が最も高く、次いで18歳以上29歳以下では「学校の授業、先生」、30歳代から60歳以上では「はっきり覚えていない」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	家族（祖父母、父母、兄弟姉妹等）	3	1.1%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%
親せき	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
近所の人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職場の人	4	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	2.7%
友人	13	4.7%	6.3%	8.3%	5.2%	4.7%	1.4%
学校の授業、先生	8	2.9%	15.6%	4.2%	0.0%	0.0%	1.4%
テレビ、ラジオ、新聞、本等	208	75.4%	65.6%	64.6%	81.0%	79.7%	78.4%
人権に関する集会や研修会	5	1.8%	0.0%	0.0%	1.7%	1.6%	4.1%
都道府県や市区町村の広報紙やホームページ、冊子等	1	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
はっきり覚えていない	25	9.1%	6.3%	16.7%	10.3%	6.3%	6.8%
その他	5	1.8%	6.3%	2.1%	0.0%	1.6%	1.4%
無回答	4	1.4%	0.0%	2.1%	1.7%	1.6%	1.4%
回答者数（人）	276	—	32	48	58	64	74

【問28で「言葉も内容も知っている」・「言葉は知っている」と回答した人に対して】

問28-2 あなたは、性的少数者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（該当するものすべてに○）

【全体】

LGBTなど性的少数者について知っているとは回答した276人に対し、性的少数者の人権が尊重されていないと感じる状況を聞いたところ、「学校や職場でいじめにあう可能性があること」が65.2%で最も高く、次いで「自分の性自認を明かせないことで、精神的な負担があること」が63.8%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が56.2%となっている。

【年代別】

18歳以上29歳以下と40歳代では「学校や職場でいじめにあう可能性があること」、30歳代と50歳代と60歳以上では「自分の性自認を明かせないことで、精神的な負担があること」が最も高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	就職活動や職場において不利な扱いを受けること	118	42.8%	31.3%	35.4%	53.4%	45.3%
学校や職場でいじめにあう可能性があること	180	65.2%	87.5%	66.7%	74.1%	59.4%	52.7%
じろじろ見られたり、避けられたりすること	155	56.2%	75.0%	64.6%	62.1%	50.0%	43.2%
スポーツ・文化活動や地域活動に支障があること	33	12.0%	28.1%	12.5%	12.1%	4.7%	10.8%
交流や交際など、日常生活で不利な扱いを受けること	90	32.6%	50.0%	43.8%	31.0%	20.3%	29.7%
医療・福祉施設等で看護や介護における処遇が不適切であること	48	17.4%	25.0%	18.8%	20.7%	12.5%	14.9%
自分の性自認を明かせないことで、精神的な負担があること	176	63.8%	65.6%	68.8%	72.4%	60.9%	55.4%
経済的に自立することが困難であること	25	9.1%	12.5%	8.3%	12.1%	6.3%	8.1%
アパートなど住居への入居が困難であること	33	12.0%	28.1%	12.5%	8.6%	4.7%	13.5%
その他	8	2.9%	3.1%	8.3%	1.7%	3.1%	0.0%
特になし	20	7.2%	3.1%	10.4%	3.4%	6.3%	10.8%
無回答	4	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	2.7%
回答者数(人)	276	—	32	48	58	64	74

【問28で「言葉も内容も知っている」・「言葉は知っている」と回答した人に対して】
 問28-3 あなたは、性的少数者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

【全体】

LGBTなど性的少数者について知っているとは回答した276人に対し、性的少数者の人権を守るために必要なことを聞いたところ、「幼少期からの教育の充実」が43.5%で最も高く、次いで「更衣室やトイレなどに対する配慮」が42.0%、「性的少数者が気持ちや情報を共有できる居場所づくり」が39.9%となっている。

【年代別】

18歳以上29歳以下では「更衣室やトイレなどに対する配慮」、30歳代と50歳代では「幼少期からの教育の充実」及び「更衣室やトイレなどに対する配慮」、40歳代では「幼少期からの教育の充実」、60歳以上では「性的少数者の人権を守るための啓発活動を推進する」が最も高くなっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	性的少数者の人権を守るための啓発活動を推進する	74	26.8%	25.0%	18.8%	25.9%	20.3%
性的少数者のための各種相談体制を充実する	75	27.2%	15.6%	18.8%	20.7%	32.8%	37.8%
性的少数者が気持ちや情報を共有できる居場所づくり	110	39.9%	43.8%	45.8%	41.4%	37.5%	35.1%
行政職員や教職員に対する研修の実施	60	21.7%	28.1%	20.8%	17.2%	29.7%	16.2%
幼少期からの教育の充実	120	43.5%	43.8%	50.0%	60.3%	40.6%	28.4%
更衣室やトイレなどに対する配慮	116	42.0%	59.4%	50.0%	53.4%	40.6%	21.6%
マスメディアやSNSの情報発信のあり方を見直す	60	21.7%	34.4%	18.8%	20.7%	21.9%	18.9%
その他	4	1.4%	0.0%	6.3%	0.0%	1.6%	0.0%
特になし	17	6.2%	0.0%	8.3%	1.7%	3.1%	13.5%
無回答	6	2.2%	0.0%	2.1%	0.0%	4.7%	2.7%
回答者数(人)	276	—	32	48	58	64	74

1 2 男女共同参画について

問 2 9 男女の地位は平等になっていると思いますか。(項目ごとに○は1つ)

【全体】

- ・「家庭生活のなかで」では、「平等」が 38.7%で最も高く、次いで「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が 35.7%となっている。
- ・「学校教育のなかで」では、「平等」が 69.2%で最も高く、次いで「分からない」が 9.8%となっている。
- ・「職場のなかで」では、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が 44.8%で最も高く、次いで「平等」が 21.0%となっている。
- ・「社会通念や慣習のなかで」では、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が 52.4%で最も高く、次いで「平等」が 19.8%となっている。
- ・「法律や制度のなかで」では、「平等」が 36.0%で最も高く、次いで「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が 32.3%となっている。
- ・「地域活動の場で」では、「平等」が 38.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が 33.2%となっている。
- ・「全体として」では、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が 47.0%で最も高く、次いで「平等」が 29.0%となっている。

項目	選択肢	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	分からない	無回答
家庭生活のなかで		5.5%	35.7%	38.7%	7.0%	1.2%	5.8%	6.1%
学校教育のなかで		0.9%	9.1%	69.2%	4.3%	0.0%	9.8%	6.7%
職場のなかで		13.7%	44.8%	21.0%	7.0%	1.2%	7.6%	4.6%
社会通念や慣習のなかで		8.8%	52.4%	19.8%	5.2%	0.9%	7.3%	5.5%
法律や制度のなかで		5.2%	32.3%	36.0%	6.7%	1.2%	12.5%	6.1%
地域活動の場で		4.6%	33.2%	38.4%	6.7%	0.6%	9.8%	6.7%
全体として		5.2%	47.0%	29.0%	2.7%	1.8%	9.1%	5.2%

(回答者数 328 人)

問29-1 「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担の考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感しますか。(○は1つ)

【全体】

「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担の考え方について同感するか聞いたところ、「同感しない」が50.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が39.9%、「同感する」が4.3%となっている。

【年代別】

40歳代を除く各年代では「同感しない」、40歳代では「どちらともいえない」が最も高く、次いで40歳代を除く各年代では「どちらともいえない」、40歳代では「同感しない」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	同感する	14	4.3%	0.0%	1.9%	3.2%	5.3%
同感しない	167	50.9%	75.0%	57.4%	43.5%	50.7%	43.6%
どちらともいえない	131	39.9%	25.0%	35.2%	51.6%	37.3%	42.6%
分からない	7	2.1%	0.0%	1.9%	1.6%	1.3%	4.0%
無回答	9	2.7%	0.0%	3.7%	0.0%	5.3%	3.0%
回答者数(人)	328	—	36	54	62	75	101

13 DV（ドメスティック・バイオレンス）について

問30 あなたは、これまでに、あなたの配偶者やパートナーから次のような行為をされたことがありますか。（項目ごとに○は1つ）

【全体】

- ・「殴られたり、蹴られたりした」では、「まったく無い」が 82.3%で最も高く、次いで「1、2度あった」が 8.8%となっている。
- ・「刃物などを突きつけられ脅された」では、「まったく無い」が 93.0%で最も高く、次いで「無回答」が 6.1%となっている。
- ・「物を投げつけられた」では、「まったく無い」が 79.9%で最も高く、次いで「1、2度あった」が 11.9%となっている。
- ・「嫌がるのに性的な行為を求められた」では、「まったく無い」が 84.1%で最も高く、次いで「無回答」が 6.7%となっている。
- ・「ポルノビデオや雑誌を無理やり見せられた」では、「まったく無い」が 91.8%で最も高く、次いで「無回答」が 6.1%となっている。
- ・「交友関係や電話、郵便物などを細かく監視された」では、「まったく無い」が 86.0%で最も高く、次いで「無回答」が 6.7%となっている。
- ・「大声でどなられた」では、「まったく無い」が 61.9%で最も高く、次いで「1、2度あった」が 24.4%となっている。
- ・「誰のおかげで生活できているのか」などと言われた」では、「まったく無い」が 77.1%で最も高く、次いで「1、2度あった」が 11.9%となっている。
- ・「何を言っても長時間無視された」では、「まったく無い」が 76.5%で最も高く、次いで「1、2度あった」が 14.6%となっている。

項目	選択肢	何度もあった	1、2度あった	まったく無い	無回答
殴られたり、蹴られたりした		3.0%	8.8%	82.3%	5.8%
刃物などを突きつけられ脅された		0.3%	0.6%	93.0%	6.1%
物を投げつけられた		2.4%	11.9%	79.9%	5.8%
嫌がるのに性的な行為を求められた		2.7%	6.4%	84.1%	6.7%
ポルノビデオや雑誌を無理やり見せられた		0.3%	1.8%	91.8%	6.1%
交友関係や電話、郵便物などを細かく監視された		2.7%	4.6%	86.0%	6.7%
大声でどなられた		7.9%	24.4%	61.9%	5.8%
「誰のおかげで生活できているのか」などと言われた		4.9%	11.9%	77.1%	6.1%
何を言っても長時間無視された		3.7%	14.6%	76.5%	5.2%

(回答者数 328 人)

【問30で、1つでも「何度もあった」・「1、2度あった」と回答した人に対して】

問30-1 あなたは、これまでに、その相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（○は1つ）

【全体】

これまでにDV（ドメスティック・ハイオレンス）があったと回答した139人に対し、相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしたか聞いたところ、「相談しようとは思わなかった」が63.3%で最も高く、次いで「相談した」が25.9%、「相談したかったが、出来なかった」が9.4%となっている。

【年代別】

18歳以上29歳以下では、すべての回答者が「相談した」となっている。また、30歳代から60歳以上では「相談しようとは思わなかった」が最も高く、次いで「相談した」となっている。

選択項目	総計		18歳以上 29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳 以上
	相談した	36	25.9%	100.0%	23.8%	34.6%	28.2%
相談したかったが、出来なかった	13	9.4%	0.0%	14.3%	0.0%	15.4%	8.0%
相談しようとは思わなかった	88	63.3%	0.0%	61.9%	65.4%	53.8%	74.0%
無回答	2	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	2.0%
回答者数（人）	139	—	3	21	26	39	50